第５回大分市佐賀関大規模火災　生活再建支援・復興本部会議　概要

開催日：令和８年１１月１８日（水）
出席者：本部長（足立市長）
　　副本部長（佐藤副市長、松田副市長）
　　幹事（西田上下水道管理者）
　　本部員（部局長等）
　　大分県（防災局）
　　事務局員（武安事務局長　以下７名）
次　第：１．本部長　あいさつ
　　２．各種報告
　　・公費解体について
　　・復興市営住宅について
　　・主要防災道路（市道田中線ほか）について
　　３．復興まちづくり実行計画について
　　・実行計画の構成
　　・復興まちづくり実行計画の検討について
　　・自助・共助・公助の取組
　　・防災道路・複合交流ゾーン
　　・土地のアンケート調査の結果
　　・今後のスケジュール
　　４．その他
　　・経過及び対応状況

会議概要

【議題の概要】

１．各種報告について

〇公費解体について

被災家屋等の解体・撤去（公費解体）を令和８年１月15日から実施し、令和８年10月23日をもって現地作業を終了。工事が完了した部分から所有者への完了確認を進め、１１月１７日をもってすべての所有者との確認が完了。

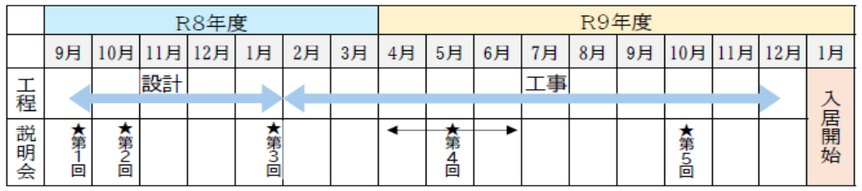
（全体進捗）

撤去予定棟数	１７１棟
撤去済棟数	１７１棟
進捗率	１００％

〇復興市営住宅について

（事　　業　　者）梅林・東九州・矢野設備特定事業共同企業体
※令和８年８月24日仮契約、９月15日議会承認を受け本契約締結

（スケジュール）



回	時期	主な内容（予定）
第1回説明会	令和8年9月26日（開催）	・市営住宅の生活ルール ・市営住宅計画概要 ・アンケート結果と市の対応方針の説明
第2回説明会	令和8年10月24日（開催）	・アンケートや要望等の検討結果の説明
第3回説明会	令和9年1月頃	・工事着工前の説明 ・部屋割り方法の説明
第4回説明会	令和9年4月～6月頃	・進捗状況の説明
第5回説明会	令和9年10月頃	・入居の本申込など手続き方法の説明

※ 説明会の時期や回数、内容は変更となる可能性あり。工事期間中に現場見学会・完成見学会を企画予定。

（説明会開催概要）
　第１回：令和８年　９月２６日（土）午後　２時～（２１世帯、３２名参加）
　第２回：令和８年１０月２４日（土）午前１１時～（１９世帯、２７名参加）
　場　所：佐賀関市民センター内　佐賀関公民館２階　研修室
　対　象：事前申込者とそのご家族（※欠席者に対し後日説明会要旨および資料を郵送）
　概　要：各住戸の間取り、駐車場等の建物配置計画、入居に関する質問や相談への回答

（事前申込辞退）
　第１回説明会以降、事前申込者３世帯より復興市営住宅への入居辞退あり。

（事業進捗状況）
・令和８年　８月～　設計内容等について、田中連合区被災地復興事務局と協議
・令和８年１１月～　建築物の詳細設計に着手
・令和８年１１月～　敷地造成工事に着手（既存構造物の解体工事は令和８年１０月までに完了）

〇主要防災道路（市道田中線ほか）について
資料１参照

２．復興まちづくり実行計画について
〇実行計画の構成
資料２参照

〇復興まちづくり実行計画の検討について
令和８年９月１７日　復興まちづくり実行計画検討調整会議の設置
（位置付け）地元関係者、関係団体および市が、それぞれの立場から情報や課題を共有し、事業の具体化および実施に向けた連携・検討・調整を行う。
（構 成 員）田中連合区被災地復興事務局、田中連合区被災地復興事務局有識者会議、被災地住民、大分市自治委員連絡協議会佐賀関地区、大分市自治委員連絡協議会関校区、NPO 法人、さがのせきまちづくり協議会、大分商工会議所佐賀関支所、大分県漁業協同組合佐賀関支店、大分県農業協同組合さがのせき支店、道の駅さがのせき、ＪＸ金属製錬（株）佐賀関製錬所、社会医療法人関愛会、社会福祉法人大翔会、大分市社会福祉協議会、佐賀関地区社会福祉協議会、佐賀関地区民生委員・児童委員協議会、日本文理大学、大分大学、大分県、大分市

（検討調整会議の概要）

第１回 （９月 17 日）	第２回 （10 月１日）	第３回 （10 月 15 日）	第４回 （10 月 30 日）
・これまでの経過 ・復興まちづくり実行計画の構成（案） ・市の考える取組（案） ・取組シート ・今後のスケジュール（案）	・田中連合区被災地復興事務局からの要望書について ・各団体からの自助・共助・公助による取組内容（案） ・道路配置案 ・複合交流ゾーンの整備	・自助・共助・公助の取組（追加） ・道路整備について ・複合交流ゾーンについて	・地区別説明会の開催結果について ・田中連合区被災地復興事務局の提案について ・今後のスケジュール

〇自助・共助・公助の取組
資料３、４参照

〇防災道路・複合交流ゾーン
資料５－１、５－２参照

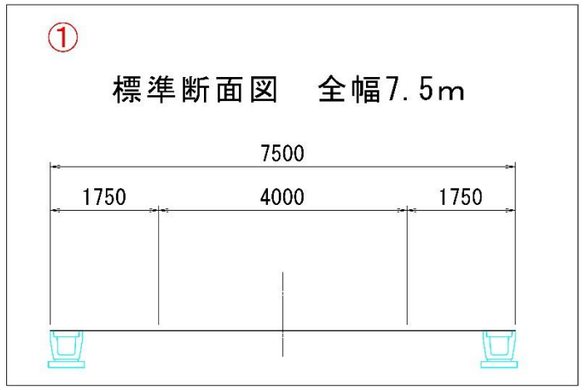
〇土地のアンケート調査の結果
（実施期間）令和８年１０月２３日～１１月６日
（対 象 者）　２０３人
（送 付 者）　１９１人
※２０３人中１２人は連絡先不明・回答拒否等によりアンケート未送付
（回 答 者）　１３１人
（回 答 率）　６８.６％
（アンケート結果）　資料６参照

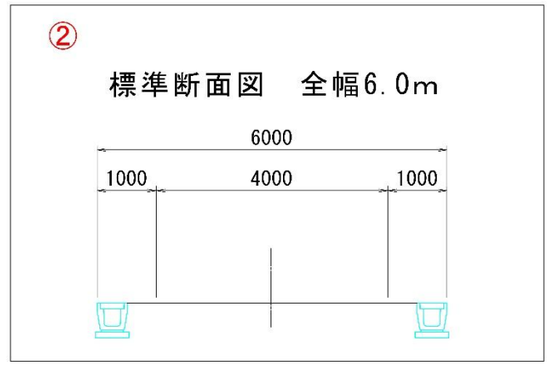
〇今後のスケジュール
・令和８年１２月　第５回検討調整会議
・令和９年　１月　第６回検討調整会議
・令和９年　２月　全体説明会
・令和９年　３月　復興まちづくり実行計画策定

３．その他
経過及び対応状況
資料７参照

主要防災道路（市道 田中線ほか）について

資料１





事業	令和8年度 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	令和9年度 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
主要防災道路 田中線ほか道路改築 （道路建設課）				測量・設計業務委託																					
											用地交渉														
													入札・契約	道路改築工事											復興市営住宅の完成と合わせて完了予定
排水路付替 （河川・みなと振興課）						測量・設計業務委託																			
											入札・契約	排水路付替工事													
配水管布設 （水道整備課）							測量・設計業務委託																		
											入札・契約		配水管布設工事												

凡　例	
	計画道路
	現　道
	家　屋
	公園等
	排水施設
	地　籍

大分市佐賀関大規模火災復興まちづくり実行計画の構成(案)

資料２

★大分市佐賀関大規模火災復興計画(マスタープラン)との共有事項

1 第1章 計画の基本事項

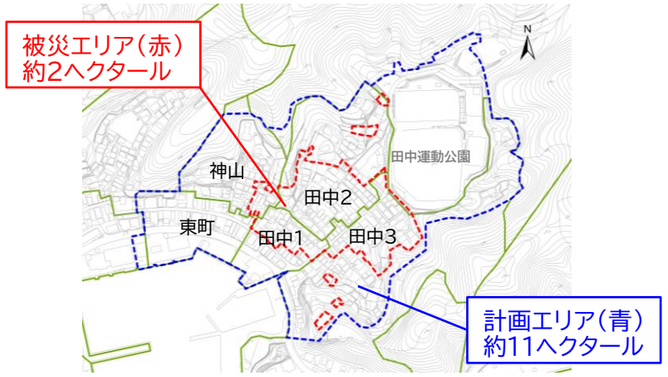
1-1 計画の概要
・ 計画の背景と目的を整理

1-2 災害の概要★
・ 大火の要因などを整理

1-3 被災地の特性★
・ 都市基盤、人口推移、空き家の状況、未接道の状況、災害区域の状況など

1-4 対象地域★
・ 以下のエリアを設定
- ➢被災エリア
- ➢計画エリア
  (被災5地区、田中運動公園周辺)
- ➢佐賀関地域

1-5 計画の位置付け及び計画期間★
・ 上位・関連計画の整理
・ 復興計画【令和8年8月31日 策定】
(復興マスタープラン)
・ 整備・展開(PDCA(5年間))





2 第2章 復興に向けての「めざす姿」

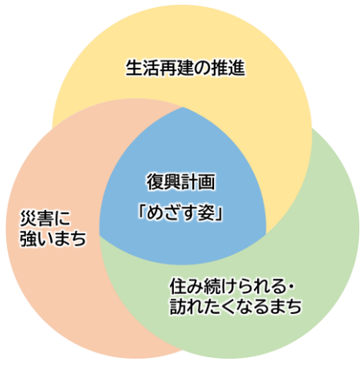
2-1 復興に向けての「めざす姿」★
被災エリアの現状と課題を整理し、その周辺を含む地域全体の課題を踏まえた地域復興を進めるため、被災者や地域のみなさんとの対話を重ね、3つの視点から「めざす姿」を設定

【3つの視点】★
- 視点① 生活再建の推進
- 視点② 災害に強いまち
- 視点③ 住み続けられる・訪れたくなるまち

被災者のみなさん
- 全体説明会
- 個別意向調査
- 地区別意見交換会

地域のみなさん
- 佐賀関校区自治委員連絡協議会
- 佐賀関連絡会
- 佐賀関商工会議所
など

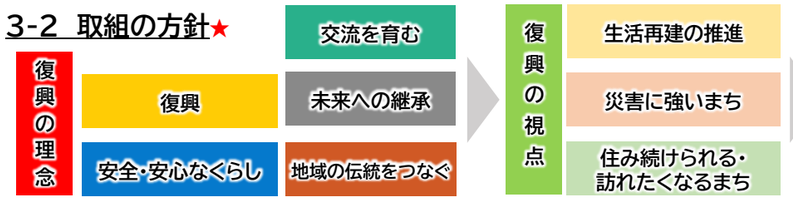
意向反映



3 第3章 施策の方向性の検討

3-1 現状と課題の整理★
・ 現状の把握と「めざす姿」に向けての課題を整理

3-2 取組の方針★



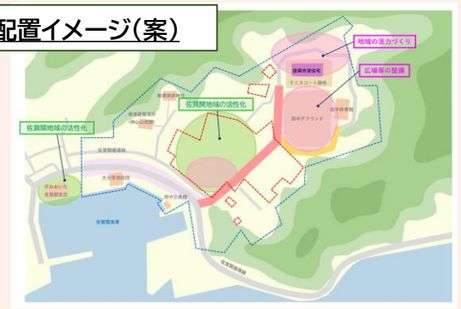
6つの施策
① 被災者の生活再建を支える取組
② 恒久的な住まいの確保
③ 災害への対応(防災・減災)
④ インフラの復旧・強化(防災・減災)
⑤ 居住環境の充実
⑥ 地域の魅力の創出、発信

4 第4章 取組むべき施策

「3つの視点」「6つの施策」に基づく「復興まちづくり実行計画」を策定

4-1 配置イメージ
・ 復興に向けての「めざす姿」を実現するために必要な機能と配置のイメージを復興関連事業を基に「3つの視点」それぞれについて作成

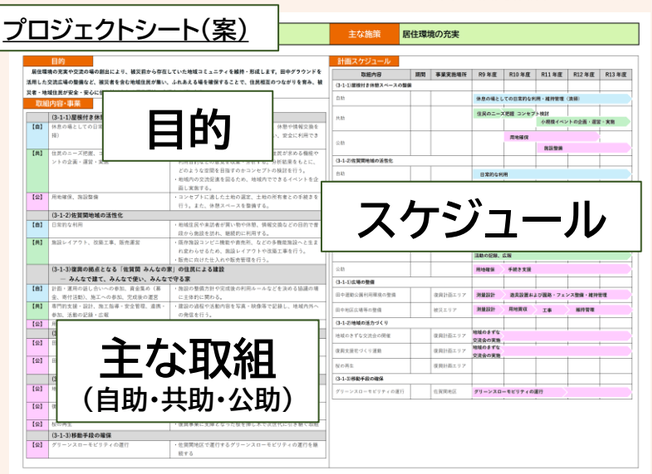
配置イメージ(案)



配置イメージおよび
プロジェクトシート(案)は検討段階のものです

4-2 生活再建支援・復興関連事業一覧
・ 復興に向けての「めざす姿」を実現するための生活再建支援・復興関連事業の一覧を示す
(施策名・施策概要・事業主体・対象エリア・事業年度等)

プロジェクトシート(案)



4-3 プロジェクトシート
施策① 被災者の生活再建を支える取り組み
・
・
施策② 恒久的な住まいの確保
・
・
施策③ 災害への対応
・
・
施策④ インフラの復旧・強化
・
・
施策⑤ 居住環境の充実
・
・
施策⑥ 地域の魅力の創出、発信
・
・

4-4 6つの施策に基づく施策等の実施位置図
・ 6つの施策に基づく復興関連事業等の実施位置・範囲を示す図
・ 基盤整備(道路等)の形状・配置を示す図

実施位置図(案)



図:参考「糸魚川市駅北復興まちづくり計画」H30.5

5 第5章 計画の推進、進捗管理

5-1 推進体制
・計画推進の基本的考え方
・多様な主体の役割

5-2 進捗管理
・ PDCAサイクルによる進捗管理(5年間)
・ 取り組みの進捗状況など、評価・検証を行う。

公助の取組（案）

資料3

復興の理念	復興の視点	主な施策	公助の取組（案）			
			取 組	公 助		
				内容	概要	担当課
○復興 ○安全・安心な暮らし ○未来への継承	生活再建の推進	被災者の生活再建を支える取組	■被災者生活再建支援	被災者生活再建支援金	被災者に対し、被災者生活再建支援法に基づいて支援金を支給する。	福祉保健課
			■被災者見守り・相談支援等	被災者の見守りや相談支援	市営住宅等で暮らす被災者へ見守り訪問や相談対応を行う。	福祉保健課
				賃貸型応急住宅の提供	被災により自力で一時的な居住先を確保することが困難な世帯に対し、原則2年間を上限として賃貸型応急住宅を提供する。	住宅課
				市営住宅一時入居・賃貸型応急住宅対象者への家電提供	市営・賃貸応急住宅入居者に冷蔵庫・洗濯機を提供する。	住宅課
		恒久的な住まいの確保	■住まいの確保	佐賀関復興市営住宅の建設	自力で住宅再建が困難な世帯に対し、復興市営住宅を整備する。	住宅課
			■住まいの自立再建の促進	敷地再編検討の支援	未接道な土地や狭小な土地が多い被災地において、土地の活用方法など検討を行う。	まちなみ整備課
				住宅再建資金の融資に対する利子補給	自力再建希望世帯に対し、住宅建設・購入・補修の借入に利子補給を行う。	住宅課
			■住まいの基盤整備	田中線外道路（主要防災道路）の整備	港湾道路から復興市営住宅までの市道を主要防災道路として拡幅整備する。	道路建設課
				防災道路の整備	田中線外道路に加え、被災エリアに防災道路を整備する。	まちなみ整備課
				田中線外道路の整備に伴う水路の付替	田中線外道路の整備と合わせ、排水路の付替更新を行う。	河川・みなと振興課
				佐賀関地区水道管路の整備	佐賀関地区の水道管路を整備する	水道整備課
				所有者不明土地の解消	被災地にある所有者不明土地の解消を行う。	まちなみ整備課

公助の取組（案）

資料3

復興の理念	復興の視点	主な施策	公助の取組（案）			
			取 組	公 助		
				内容	概要	担当課
○復興 ○安全・安心な暮らし ○未来への継承	災害に強いまち	災害への対応（防災・減災）	■避難路の確保	【再掲】 田中線外道路（主要防災道路）の整備	-	-
				【再掲】 防災道路の整備	-	-
			■防火の対策	防火水槽の設置	復興市営住宅周辺の消火用水確保と消防水利充実のため防火水槽を整備する。	警防課
				消火栓の設置	消防水利を充実させ迅速な消火活動を確保するため消火栓の布設替えを行う。	警防課
				空き家の除却の促進	復興計画区域内で除却の補助を拡充し、延焼リスクを低減させる。	住宅課
				住宅防火の啓発活動	住宅火災予防のため、関係団体と連携し、防火講話や訓練、警報器交換・維持管理、感震ブレーカー普及についての広報を実施する。	予防課
			■自主防災組織活動の実施	被災者救援物資の備蓄	佐賀関半島が孤立する事態に備え、簡易ベッド・間仕切り・携帯トイレを追加備蓄配備する。	防災危機管理課
			■災害の伝承	災害の記録作成	災害記録を作成し、記憶と教訓を後世に伝えていくと共に、今後の防災事業に活用していく。	防災危機管理課
		インフラの復旧・強化（防災・減災）	■道路の整備	【再掲】 田中線外道路（主要防災道路）の整備	-	-
				【再掲】 防災道路の整備	-	-
			■上水道の整備	【再掲】 佐賀関地区水道管路の整備	-	-
			■排水路の整備	【再掲】 田中線外道路の整備に伴う水路の付替	-	-

公助の取組（案）

資料3

復興の理念	復興の視点	主な施策	公助の取組（案）			
			取 組	公 助		
				内容	概要	担当課
○復興 ○交流をはぐくむ ○未来への継承 ○地域の伝統をつなぐ	住み続けられるまち・訪れたくなるまち	居住環境の充実	■広場等の整備	田中運動公園利用環境の整備	スポーツ活動やコミュニティ活動などの利用方法を検討していく中で、利用環境の整備を行う。	スポーツ振興課
				複合交流ゾーンの検討	復興計画で定める複合交流ゾーンについて検討を進める	まちなみ整備課
			■地域の活力づくり	地域のきずな交流会の開催	地域コミュニティを維持するため、住民同士が集える交流会を開催する。	市民協働推進課
				復興支援花づくり運動	田中公民館に年間を通して、花苗をプランターなどに植栽する。	佐賀関支所
				桜の再生	採取した枝を挿し木によって次世代に引き継ぐ取組を行う。	道路維持課
			■移動手段の確保	グリーンスローモビリティの運行	移動手段の確保としてグリーンスローモビリティを運行する。	都市交通対策課
		地域の魅力の創出・発信	■産業振興	漁業新規就業者育成の支援	市、県、漁協が連携し、新規就業者に対して補助金・給付金の支援を行う。 新規就業者に対して、住居の優先提供を行う。	林業水産課
			■地域のまつりへの支援	地域のまつりへの支援	地域の魅力を創出・発信・継承していくため、地域のまつりへの支援を行う。	佐賀関支所 商工労政課 林業水産課
			■佐賀関地域の観光振興	地域資源を活用した観光誘客の促進	佐賀関地域の観光資源をPRし、観光誘客を促進する。	観光課
				ロケツーリズムによる観光誘客の促進	佐賀関地域を舞台とした映画等のロケ地を活用した観光誘客を促進するとともに、新たな映画等の撮影誘致に取り組む。	おおいた魅力発信局

関係団体からの自助・共助の取組提案

資料4

復興の理念	復興の視点	主な施策	取組名 （関係団体から提案いただいた取組名のまま掲載）
○復興 ○安全・安心な暮らし ○未来への継承	生活再建の推進	被災者の生活再建を支える取組	–
		恒久的な住まいの確保	住宅用地の区画確保と募集対象の拡大
			被災エリアの居住地の復活
○復興 ○安全・安心な暮らし ○未来への継承	災害に強いまち	災害への対応（防災・減災）	災害時介護・医療・地域連携型プラットフォーム設置及び連携訓練（素案）
			後方支援
			佐賀関大火の記憶をとどめるモニュメント作成
			再生の桜プロジェクト
			防災の日（11月18日）の制定
			火災に強いまちづくり 佐賀関ー1stステップ
			学生の被災地への関わりの創出 （伝承活動）
			田中体育館～火葬場間の避難路 （旧あぜ道）の整備
		インフラの復旧・強化 （防災・減災）	–
○復興 ○交流をはぐくむ ○未来への継承 ○地域の伝統をつなぐ	住み続けられるまち・ 訪れたくなるまち	居住環境の充実	屋根付き休憩スペースの整備
			佐賀関地域の活性化
			復興の拠点となる「佐賀関 みんなの家」の住民による建設 ― みんなで建て、みんなで使い、みんなで守る家
			被災跡地（更地）を活用した「みんなの豆畑」によるコミュニティ再生 ― 佐賀関・復興「結び豆」プロジェクト
		地域の魅力の創出・発信	地域技術の継承
			てくてく佐賀関　復興応援展

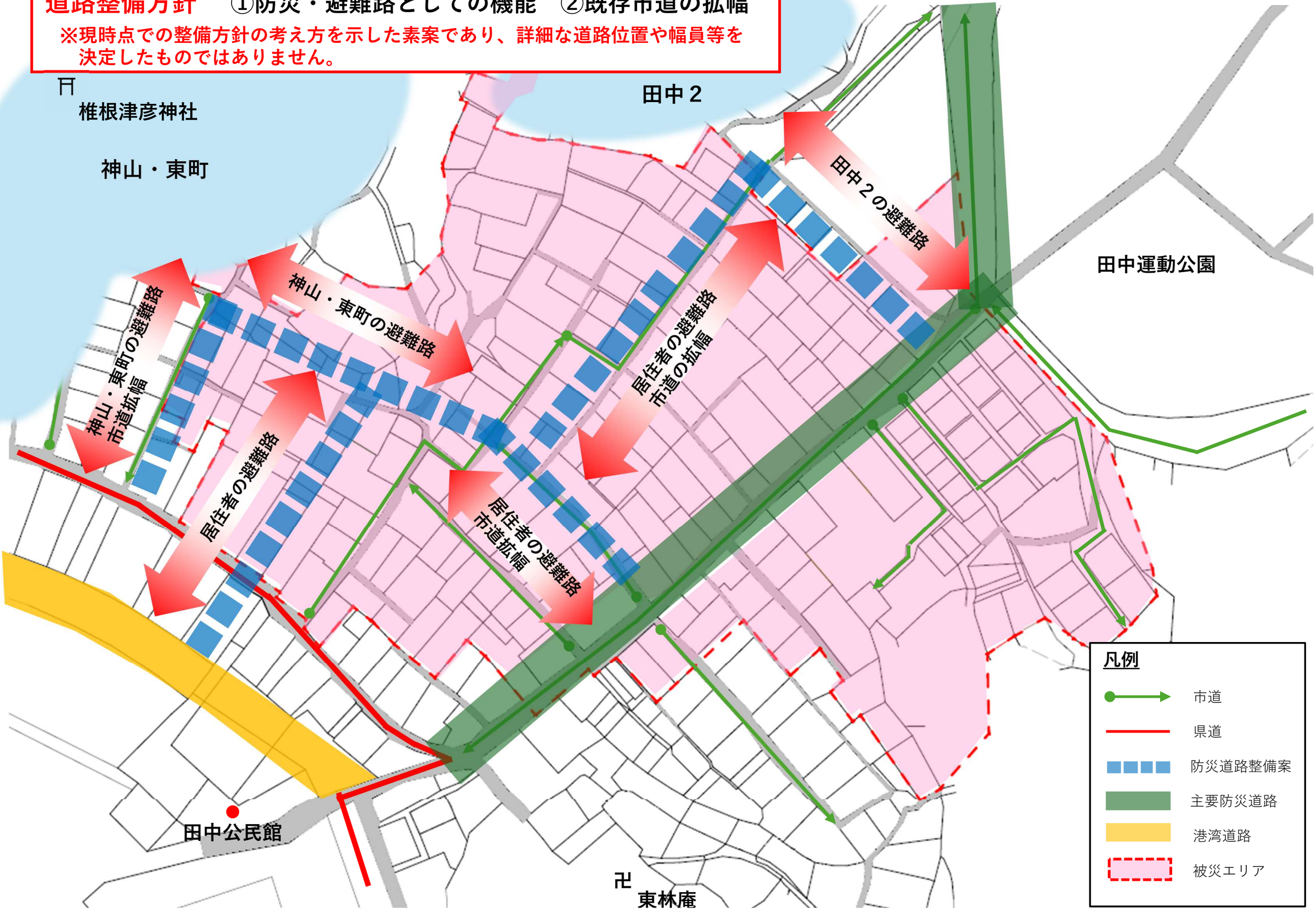
※グレー着色の取組については協議の過程で取下となったものを示す

防災道路整備の配置案

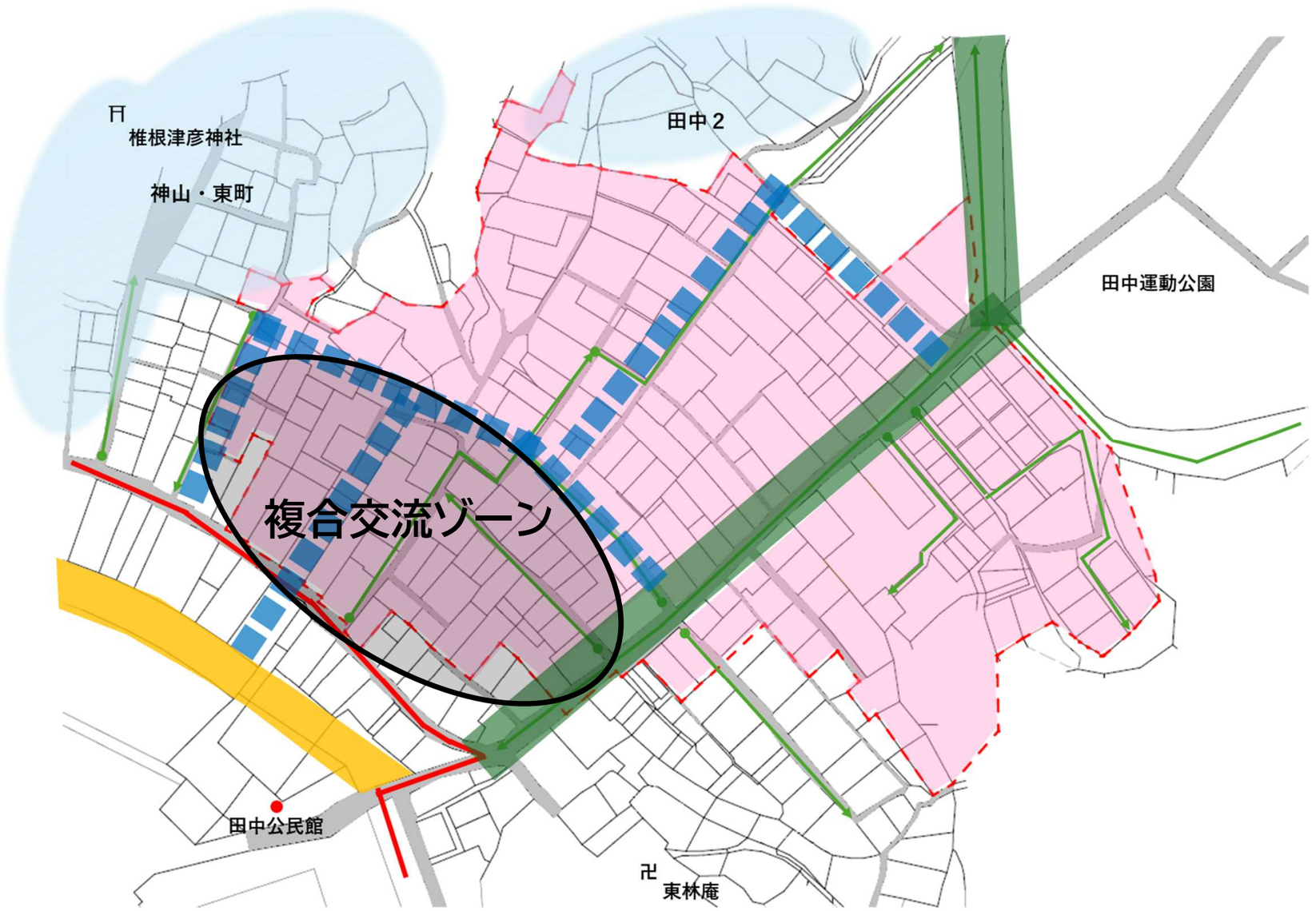
資料５－１

道路整備方針　①防災・避難路としての機能　②既存市道の拡幅

※現時点での整備方針の考え方を示した素案であり、詳細な道路位置や幅員等を決定したものではありません。



複合交流ゾーンについて



今後の進め方（案）

複合交流ゾーンに必要な機能や活用方法について、引き続き被災地の住民や関係団体と話し合いながら検討を進めます。

■ 複合交流ゾーンについては、必要な機能や活用方法、整備手法など、実現に向けて多くの課題を整理し、解決していく必要があります。

■ 引き続き、被災地の住民や関係団体と話し合いを重ね、地域にとって必要な機能や活用方法、整備手法について検討を進めます。

■ 令和8年度中に、必要な機能や活用方法について方針を定めることを目標とし、その後、実現に向けた具体的な方法を検討していきます。

スケジュール（案）

令和8年度		令和9年度		令和10年度
関係団体との協議	方針の決定	関係団体との協議		事業実施
課題の整理		課題の整理	実施に向けた最終調整	
方針検討		実現に向けた具体的な方法の検討		

被災エリアの土地所有者アンケート結果について（速報） 令和8年11月6日時点

資料６

1 アンケートの対象者について

対象		送付		回答		回答率
242筆	203人	229筆	191人	170筆	131人	68.6%

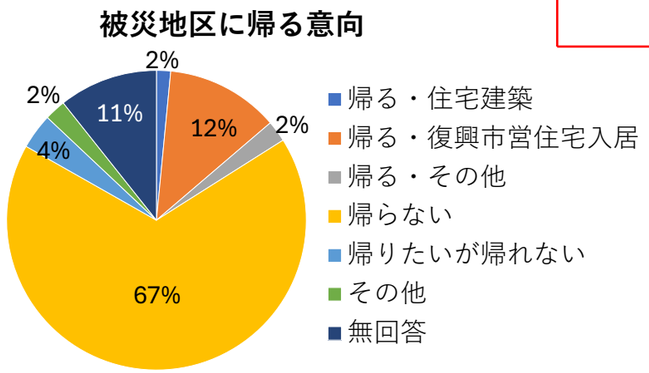
※アンケート実施　令和8年10月23日発送～令和8年11月6日〆切
※12人（13筆）は連絡先不明・回答拒否等により、アンケート未送付

2 アンケートの主な結果について

注：「無回答」は、返信はあったが該当設問の回答がない

① 被災地区に帰る意向

意向		回答数	割合
帰る	住宅建築	2人	2%
	復興市営住宅入居	16人	12%
	その他	3人	2%
帰らない		88人	67%
帰りたいが帰れない		5人	4%
その他		3人	2%
無回答		14人	11%
回答合計		131人	100%



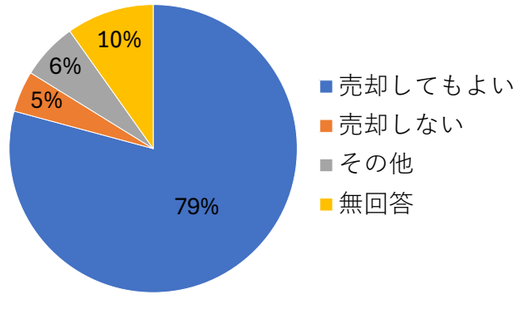
《主な理由》
・建替えたいが、金銭がない
・高齢で自立生活ができない

《主な理由》
・別の場所に住んでいた

② 所有地が将来の道路用地に含まれる場合の土地の意向

注：1筆に対して複数回答の筆が3筆ある（重複送付があるため）

意向	回答数	割合
売却してもよい	137筆	79%
売却しない	8筆	5%
その他	11筆	6%
無回答	17筆	10%
回答合計	173筆	100%

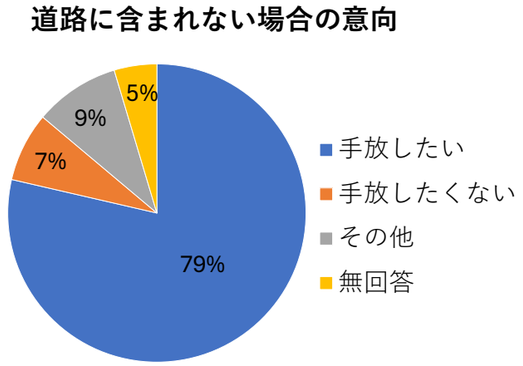


《主な理由》
・土地を全部買い取りするのであれば売却してもよい
・寄付してもよい

③ 所有地が将来の道路用地に含まれない場合の土地の意向

注：1筆に対して複数回答の筆が3筆ある（重複送付があるため）

意向	回答数	割合
手放したい	136筆	79%
手放したくない	13筆	7%
その他	16筆	9%
無回答	8筆	5%
回答合計	173筆	100%



《主な理由》
・所有地の周囲がどうなるか全体像が見えないのでまだ判断できない
・先祖から受け継いできた土地を手離して良いものか悩む

④ 土地を手放したい理由(複数回答可)

意向	回答数
将来的に自分や家族が活用する予定がない	101回答
固定資産税がかかる	62回答
維持管理にお金がかかる	56回答
高齢で維持管理する体力がない	42回答
遠方に住んでおり、維持管理ができない	38回答
道路がないため家を建てられない	20回答
資金がないため家を建てられない	15回答
土地が狭くて家を建てられない	9回答
家族の反対により家を建てられない	4回答
その他	12回答

⑤ 土地を手放す方法についての意向(複数回答可)

意向	回答数
第3者への売買	81回答
寄付でもよい	58回答
その他	12回答
無回答	14回答

資料7

大分市佐賀関大規模火災生活再建支援・復興における経過及び対応状況

１．現在までの復旧、復興状況

日時	内容
令和７年11月18日（火）	佐賀関大規模火災発生
11月19日（水）	災害救助法の適用決定
11月21日（金）	市民サポートセンターの設置
11月24日（月）	第１回住民説明会（火災の対応状況、今後の支援）
11月25日（火）	罹災証明書の申請受付開始、被災者生活再建支援法の適用決定
12月　1日（月）	大分市災害ボランティアセンターの設置
12月　2日（火）	第２回住民説明会（住まい、支援金、家屋の片付け）
12月　3日（水）	被災者生活再建支援金の申請受付開始
12月12日（金）	大分市佐賀関大規模火災見舞金の申請受付開始
12月19日（金）	災害義援金の申請受付開始
12月21日（日）	第３回住民説明会（公費解体、まちづくり）
12月26日（金）	指定避難所の閉鎖（17時）
令和８年　1月　5日（月）	公費解体の申請受付開始
1月15日（木）	公費解体の開始、保健師等による巡回訪問
1月25日（日）	第１回　地域のきずな交流会
2月　1日（日）	支え合いセンター設置
2月22日（日）	第２回　地域のきずな交流会
2月25日（水）	第1回　個別意向調査（アウトリーチ）開始
3月22日（日）	第３回　地域のきずな交流会
4月12日（日）	第1回　意見交換会
4月13日（月）	第2回　個別意向調査（アウトリーチ）開始
4月29日（水）	個別意見交換会（自立再建希望者向け）
5月24日（日）	第2回　意見交換会
5月31日（日）	第4回　地域のきずな交流会
6月　1日（月）	第3回　個別意向調査（アウトリーチ）開始
6月　1日（月）	復興市営住宅　事前申込み開始（～6/30まで）
6月21日（日）	個別相談会（復興市営住宅入居希望者向け）
6月30日（火）	災害義援金の申請受付終了
7月20日（月）	復興意見交換会
8月23日（日）	復興意見交換会
8月30日（日）	第5回　地域のきずな交流会
8月31日（月）	大分市佐賀関大規模火災復興計画　策定

日時	内容
令和8年　9月　1日（火）	佐賀関支所に相談窓口を設置
9月15日（火）	復興市営住宅工事請負契約締結
9月17日（木）	復興まちづくり実行計画検討調整会議を設置
9月17日（木）	第1回復興まちづくり実行計画検討調整会議
10月　1日（木）	第2回復興まちづくり実行計画検討調整会議
10月15日（木）	第3回復興まちづくり実行計画検討調整会議
10月18日（日）	地区別説明会
10月23日（金）	公費解体に係る現場工事の終了
10月25日（日）	第6回　地域のきずな交流会
10月30日（金）	第4回復興まちづくり実行計画検討調整会議

２．義援金配分状況（受付終了日：6月30日（火）、最終配分日：7月31日（金））

配分区分		配分合計額（市及び県）
住家被害（1世帯あたり）	全壊	13,950,000円
	準半壊・一部損壊	1,395,000円
田中連合区被災地復興事務局		3,207,786円

３．寄附金の受入状況（11月11日（水）現在）

項目	金額
一般寄付	150,851,643円
市町村等見舞金	3,950,000円
ふるさと納税（企業版）	1,179,100,000円
ふるさと納税（個人）	127,218,734円
計	1,461,120,377円

４．被災者への支援金・見舞金の状況（11月10日（火）現在）

項目		内容	件数	金額	支給状況
被災者生活再建支援金	基礎支援金	自然災害により居住する住宅が全壊するなど生活基盤に著しい被害を受けた世帯に対し、生活の再建を支援するために支援金を支給する	82件	68,750,000円	支給済
	加算支援金		9件	13,625,000円	支給済
見舞金（市独自）		佐賀関大規模火災により被害を受けた家屋に居住する世帯の世帯主に見舞金を支給する	93件	4,650,000円	支給済

５．現在の被災者の状況（11月10日（火）現在）

転居先・避難先等	世帯数	人数
市営住宅	29世帯	47名
民間みなし仮設	17世帯	27名
自身で確保	30世帯	36名
施設・入院	15世帯	16名
死亡	3世帯	5名
合　計	94世帯	131名

※死亡の世帯数については、世帯全員が死亡した場合にのみ計上。